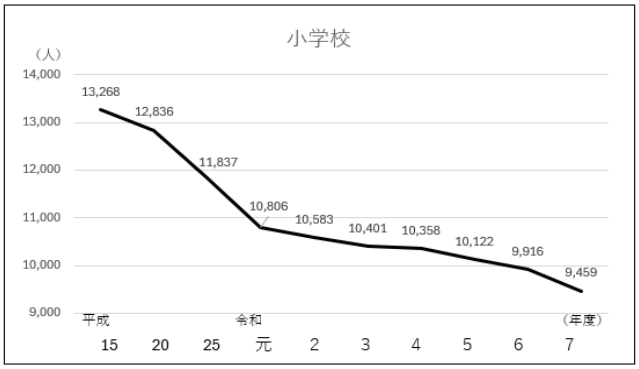
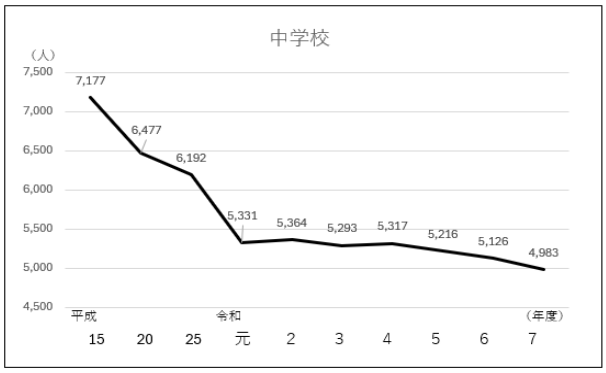
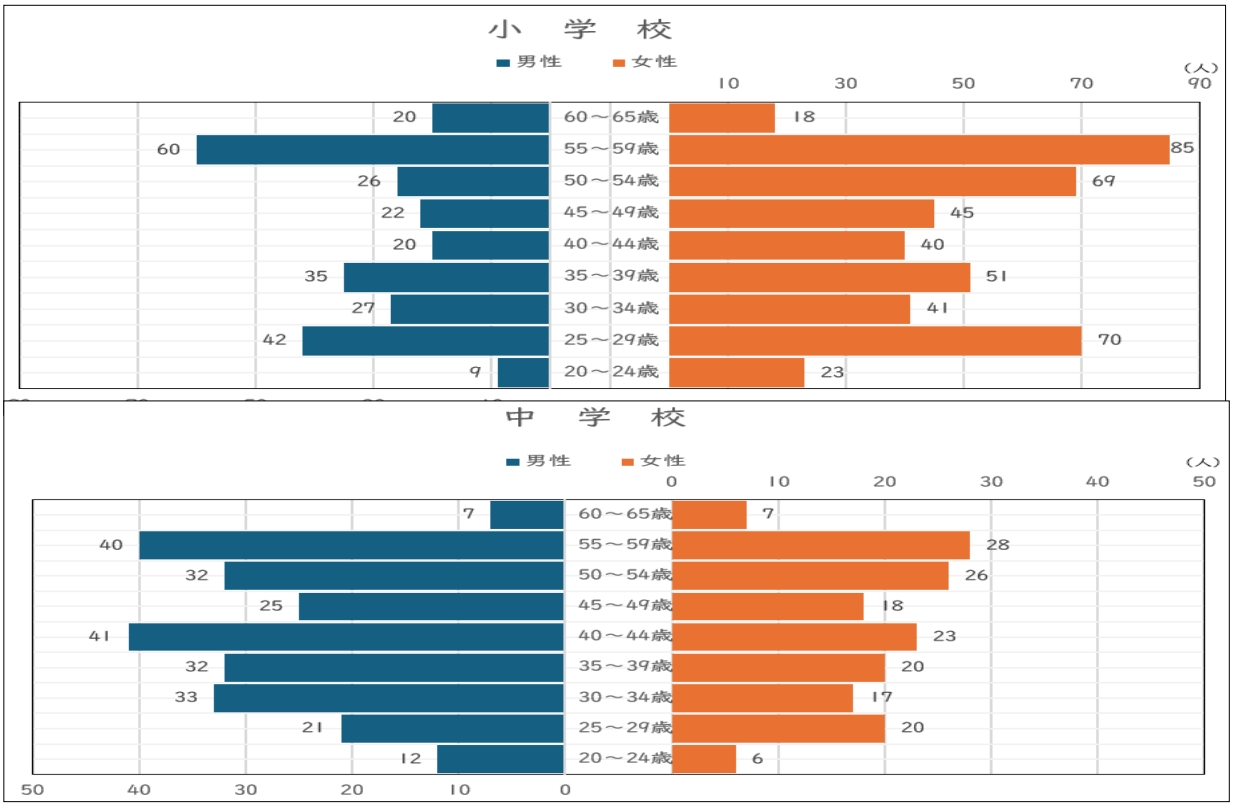
(2) 児童生徒数の推移（令和７年５月１日現在）





(3) 校長・教員の年齢構成

（令和７年５月１日現在の校長・教頭・主幹教諭・教諭・養護教諭・栄養教諭の人数。年齢は令和７年度末とする。）



３　教育課程編成上の工夫

(1) 小学校６学年における教科担任制（義務教育学校、分校を含む 43 校）

教科担任制を導入することにより、教科指導の専門性を生かした、よりきめ細かな指導が期待されます。

◆教科担任制の実施教科

	国　語	書　写	社　会	算　数	理　科	音　楽	図　工	家　庭	体　育	外国語
学校数	10	28	26	20	38	37	18	34	21	35
割　合	23.3%	65.1%	60.5%	46.5%	88.4%	86.0%	41.9%	79.1%	48.8%	81.4%

(2) 中学校におけるティーム・ティーチング（義務教育学校、分校を含む 21 校）

個に応じた指導を充実させることで、学習内容の確実な定着を図っています。

◆ティーム・ティーチングの実施教科

	国　語	社　会	数　学	理　科	音　楽	美　術	保　体	技　家	外国語
学校数	1	2	18	1	1	1	6	2	17
割　合	4.8%	9.5%	86%	4.8%	4.8%	4.8%	28.6%	9.5%	81.0%

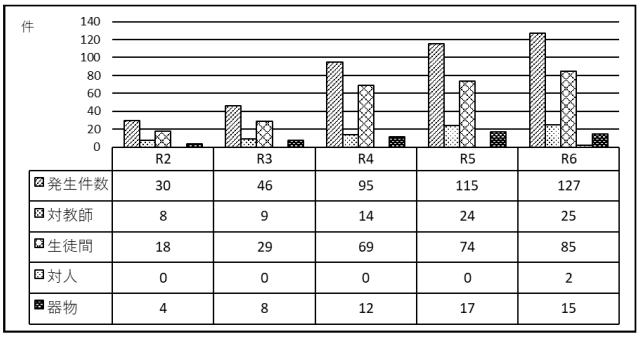
4　児童・生徒指導上の現状と対応

(1) 暴力行為の現状と対応

本地区内の令和６年度の暴力行為発生件数を見ると、令和５年度と比較して小学校で 12 件増加し、中学校では 13 件増加しています。発生件数の増加については、各学校において、積極的に暴力行為を認知していること、特定の児童生徒の複数回に渡る暴力行為の認知によるものが要因であると考えられます。また、発達障害やその疑いのある児童生徒が、教師による指導の意図を読み取れなかったり、友人とのコミュニケーションが取れなかったりして、感情をうまくコントロールできずに、手や足が出てしまうケースなどが報告されています。

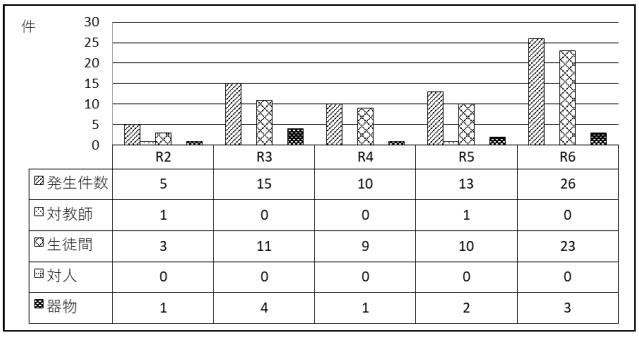
今後も引き続き、特別支援教育の視点を生かした指導・支援の充実、本人の特性や家庭環境等、暴力行為の背景についての理解、暴力行為を起こさない心を育てるための規範意識や倫理観の醸成、さらには、関係機関との連携及び組織的な対応の充実が求められます。

暴力行為（小学校）



	R2	R3	R4	R5	R6
発生件数	30	46	95	115	127
対教師	8	9	14	24	25
生徒間	18	29	69	74	85
対人	0	0	0	0	2
器物	4	8	12	17	15

暴力行為（中学校）



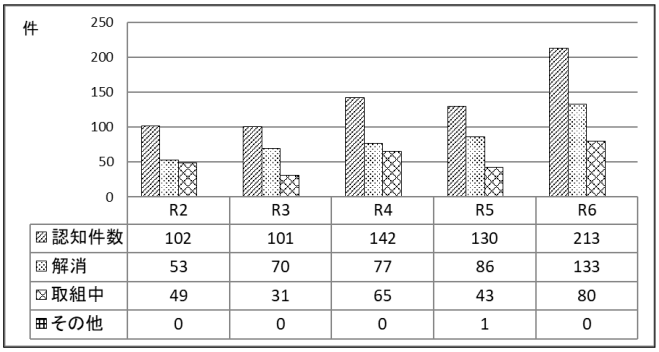
	R2	R3	R4	R5	R6
発生件数	5	15	10	13	26
対教師	1	0	0	1	0
生徒間	3	11	9	10	23
対人	0	0	0	0	0
器物	1	4	1	2	3

(2) いじめの現状と対応

本地区内のいじめ認知件数を見ると、令和５年度と比較して小学校で 83 件増加し、中学校で 21 件増加しました。いじめの認知件数の増加に至ったことについては、ささいな兆候であっても、いじめではないかとの疑いをもって、早い段階から的確に関わり、積極的な認知が行われていることが要因の一つであると考えられます。全国的にもいじめの積極的な認知が進み、いじめの認知件数は増加傾向にあります。法の定義に則り積極的な認知を進めつつ、教職員一人一人のいじめ防止のための生徒指導力の向上を図ることが大切です。併せて、各学校における組織的な未然防止・早期発見の取組とともに、学業指導の充実を図る取組を全校体制で推進していくこと、児童生徒への丁寧な関わりや、道徳教育や人権教育の取組の充実を図ることが大切です。

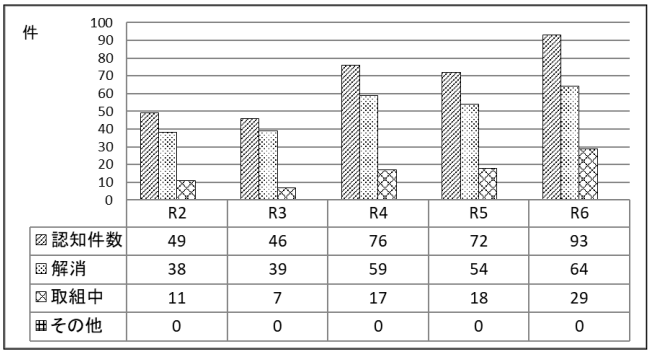
いじめはどの子供にも、どの学校においても起こり得るものであること、また、誰もが被害者にも加害者にもなり得るものであることを十分に認識しておく必要があります。そして、いじめの対応については、「学校いじめ防止基本方針」に基づき、組織的に未然防止、早期発見・早期対応することが極めて大切です。そして、いじめが起きにくい、いじめを許さない集団づくりなど未然防止の取組の充実を図ることが重要です。

いじめ認知等（小学校）



	R2	R3	R4	R5	R6
認知件数	102	101	142	130	213
解消	53	70	77	86	133
取組中	49	31	65	43	80
その他	0	0	0	1	0

いじめ認知等（中学校）



	R2	R3	R4	R5	R6
認知件数	49	46	76	72	93
解消	38	39	59	54	64
取組中	11	7	17	18	29
その他	0	0	0	0	0

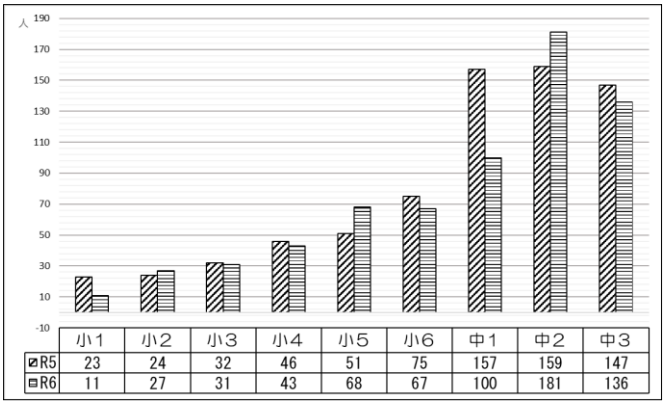
(3) 不登校の現状と対応

本地区の不登校児童生徒数を見ると、小学校の不登校児童数は令和５年度に比べほぼ横ばいで、全体の 52.2%が前年度から継続の不登校児童になります。また、中学校の不登校生徒数は令和５年度に比べ減少しており、全体の 75.7%が前年度から継続の不登校生徒になります。今後も引き続き、個々の要因・背景を適切に見極めた個別的な取組の充実及び新たな不登校を生まないための取組の推進が大切になります。

「学年別不登校児童生徒数」のグラフでは、令和５年度に比べ、小学校２、５年生及び中学校２年生を除く他の学年において不登校児童生徒が減少しており、特に中学校では１年生の減少が顕著となっております。しかし、出現率は、小学校、中学校ともに県の平均を超えているといった高い状態が続いています。

これらの現状を踏まえ、未然防止の取組や適切な初期対応を推進していくとともに、ＳＣやＳＳＷ等の活用により、校内の相談・支援体制の充実や関係機関との連携強化を図ることが大切になります。

学年別不登校児童生徒数



	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
R5	23	24	32	46	51	75	157	159	147
R6	11	27	31	43	68	67	100	181	136

５　へき地等学校及び複式学級の概況

本年度、本地区におけるへき地等の学校は、へき地１級が１小学校です。また、複式学級設置校は小学校７校、義務教育学校１校です。

【へき地等学校及び複式学級をもつ学校の状況（令和７年５月１日現在）】

（小学校）◇網掛けは複式学級　　◇級はへき地学校等の級別区分

市町名	学校名	級	複式	1年	2年	3年	4年	5年	6年	学級数	備考
大田原市	宇田川小		○	7	3	6	8	7	9	5	特支1
	奥沢小		○	7	11	5	9	5	6	5	特支1
	羽田小		○	5	1	5	5	5	7	3	
	佐久山小		○	8	8	5	10	16	17	7	特支2
	須賀川小	1	○	2	1	6	4	2	6	4	特支1
	両郷中央小		○	7	6	6	9	8	14	7	特支2
那須塩原市	波立小		○	8	9	5	8	13	10	7	特支2

（義務教育学校）◇網掛けは複式学級　　◇級はへき地学校等の級別区分

市町名	学校名	級	複式	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	学級数	備考
那須塩原市	塩原小中		○	3	5	2	5	2	6	2	5	3	8	特支2

６　外国人児童生徒教育の現状

本地区における外国人児童生徒教育拠点校(栃木県教育委員会指定)は、次の通りです。拠点校は、外国人児童生徒（帰国児童生徒を含む）の就学の受け入れの中心となり、外国人児童生徒に対する教育の研究や実践を行っています。また、日本語指導教室において段階的・効率的に日本語を指導しています。

【令和７年度外国人児童生徒教育拠点校】

市町名	学校名
大田原市	大田原小学校
	西原小学校
那須塩原市	共英小学校
	東小学校

市町名	学校名
大田原市	大田原中学校



7　特別支援学級等の設置状況

小・中学校及び義務教育学校の特別支援学級に在籍する児童生徒や、通級による指導を受ける児童生徒の数が増加傾向にあり、ここ数年、特別支援学級や通級指導教室を新たに開設する学校が増加しています。なお、本年度の特別支援学級等の設置状況は下表のとおりです。

市町	学校名	知的	自情	肢体	弱視	通級指導教室		
						言語	自･情	その他
大田原市	大田原小	4	3			1		
	西原小	3	2				1	
	紫塚小	2	2					
	親園小	1	1					
	宇田川小		1※					
	市野沢小	1	1				1	
	奥沢小	1						
	金丸小	1	1					
	北金丸分校		3					
	薄葉小	1	2					
	佐久山小	1	1					
	湯津上小	1	1					
	川西小	1	1					
	黒羽小	1						
	須賀川小		1					
	両郷中央小	1	1					
	大田原中	2	2					
	若草中	2	2					
	親園中	1	1					
	金田北中		1					
	金田南中	1	1					
	北金丸分校		1					
	野崎中	1※	1					
	湯津上中	1※						
	黒羽中	1	2					1
那須町	東陽小	1	1					
	学びの森小	1	1					
	高久小		1					
	田代友愛小	1	1			1		
	那須高原小	1	1					
	黒田原小	1	2	1※	1	1		

市町	学校名	知的	自情	難聴	肢体	通級指導教室		
						言語	自･情	その他
那須町	那須中	1	1				1	
	那須中央中	2	1					
那須塩原市	黒磯小	1	2		1	1		
	稲村小	3	2				1	
	東原小	2	2					
	埼玉小	3	1				1	
	豊浦小	3	2				1	
	共英小	3	2					
	鍋掛小	2	2					
	大原間小	1	3				1	
	波立小	1	1					
	高林小	1	2					
	青木小	1	1					
	三島小	4	3	1			1	
	槻沢小	3	2					
	東小	2	3			1		
	南小	2	2					
	西小	2	3		1			
	大山小	2	2				1	
	箒根学園(前)	1	1					
	塩原小中(前)		1※					
	黒磯中	1	1	1	1			
	黒磯北中	2	1					
	厚崎中	2	2					
	日新中	1	1					
	東那須野中	2	2					
	高林中	1	1					
	三島中	4	2					
	西那須野中	2	4		1		1	
	箒根学園(後)		1					
	塩原小中(後)		1					

※令和７年度新設学級

小学校種別	知的	自情	難聴	肢体	弱視
学級数合計	61	65	1	3	1

中学校種別	知的	自情	難聴	肢体
学級数合計	27	29	1	2